大田区立北糀谷小学校 指導教諭 漆山仁志 教諭 銀川 かれん

#### 1 本校の概要

本校は明治9年に開校し、今年度で145年目を迎えた歴史ある学校である。全学年で12学級、全校児童は304名。令和2・3年度 大田区教育委員会研究推進校キャリア教育モデル校、令和3年度 国立教育政策研究所教育課程実践検証協力校として、特別活動を要に、保護者・地域・企業と連携協働して、これからの時代を担う子どもたちに必要な資質・能力の育成を進めている。

2 「『みんなの学校 みんなで楽しく大作戦』~145周年記念行事を通して~」の取組について本校では、年度当初に『みんなの学校 みんなで楽しく大作戦』というキャッチフレーズで児童のアイディアを募集して様々な教育活動に生かしていけるようにしている。今年度は、145周年ということで、コロナ禍での学校生活の楽しみ方、運動会や展覧会等の学校行事のアイディアの他にも、145周年のキャラクター誕生や記念集会などのアイディアが集まり、児童会を中心に、一年間かけて145周年をお祝いする活動を行った。適切な指導のもと、子どもたちが自ら提案や選定を行い、楽しんで取り組む中で、主体性や自主性を育み達成感を味わわせることができた。「コロナだからできない」ではなく「コロナでも工夫してできることはある」という発想で、感染防止対策を講じながら安全に取り組むことも定着してきた。様々な取組の中から、ここでは145周年記念運動会、145周年記念児童集会、145周年記念展覧会の実践について紹介する。

## 3 145周年記念運動会の実践

令和3年6月6日(土)午前8時50分~正午、時間を短縮、保護者参観は入れ替え制、最後まで全校児童が参加する形で実施した。実施するにあたっては、「大田区立学校における新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン」をもとに、今年度の運動会で身に付けさせたい資質・能力等、ねらいを明確にした。そして、児童同士のかかわり、がんばりの保障、楽しさの保障を大切に種目の精選を行った。全校児童のあこがれとなっている応援団によるパフォーマンス、全校ダンスや応援合戦も工夫して実施した。

地域・保護者へは、学校だより、学年だよりなどの他、「運動会新聞」を発行して145周年記念運動会に向けて、全校児童が一丸となって取り組んでいることを知らせた。

当日は、声援の代わりに手作りのペットボトルの応援グッズの音が町中に鳴り響き、大いに盛り上がった。感染症対策や、児童のアイディアを生かした内容、応援などの取組については、次のページの「運動会新聞」をご覧ください。







## 令和3年 145周年記念 北糀谷小学校







今年度も、「大田区立学校における新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン」をもとに本校のみんなで知恵を出し合 って考えた運動会を開催します。半日開催。児童は1~6年生まで全員参加。145 周年の記念として本校のよさである子 ども同士のかかわりや、「がんばりの保障」「楽しさの保障」を大切に考えました。お知らせしましたように、感染防止の ため保護者の参観は各家庭2名、ご来賓の参加なし、前後半完全入れ替え制、再入場はできません。

ご理解とご協力をお願いいたします。子どもたちの運動会に向けての取り組みの一部をこの新聞で紹介いたします。







今年度も「みんなの学校、みんなで楽しく大作戦」の応募作品から、 145 周年の旗、応援グッズ (ペットポトル)、全校応援ダンスの工夫、 145 周年の記念やソーシャルディスタンスを考えた団体種目などの アイデアが採用されました。



今年の1年生がかいませき

# 応援

応援は、前半にも後半にもあります。4~6年生の応援団を中心に令和3年度 145 周年の運動会を盛り上げます。応援団長に意気込みを聞きました。

#### さん 赤組団長

運動会の練習時間は短かったけれ ど精一杯の努力をしてきました。

この世には「勝負」という言葉があ ります。僕は団長として炎神の虎赤組 を勝利に導きたいです。

### 白組団長

コロナウイルスに負けないぐらい 熱い心でたくさん応援し、小学校生活 最後の運動会を悔いのないようにし たいです。みんなの力を結集して白組 を勝利に導いていきます。

## ペットボトルの応援グッズ



盛手 上げます。

「アイム・ア・ビリーバー」歌詞の一部

明日もし うまくいかなくったって

ほしいのは つぎのマイセルフ だれかにもし これ以上はだめって

こえていくから (略) 月♪

セージがあるそうです。

歌詞ですね。

ライン引かれたって ノーサンキュー!!

「自分自身を信じて、次の自分の進むべき

道は、自分で切り開いていく」というメッ

なりたい自分をめざして日々学んでいる 北糀谷小学校の子どもたちに、ぴったりの

## 「運動会のうた」と「ファンファーレ」は、金管パンドクラブの生演奏です。

ノント応援に参加しませんか?

金管パンドクラブの生演奏「運動会のうた」に合わせて、全校児童がダンスをし ます。声は出さずに、敷詞の内容を体で表現します。保護者の皆様も、応援グッ ズを用意して一緒に「サイレント応援」に参加しませんか。

## 係の仕事 放送、署判、探点、出発、用具、数据、応援など、 高学年は、係の仕事もがんばります!

145 周年の運動会を成功させるために、責任をもってはたらく高学年 の姿にも注目してください。

## 応援団「アイム・ア・ビリーバー」

応援団を中心に、休み時間や早朝に、みんなで練習しています。 曲選びやダンスの振り付けなども全部子どもたちが考えました。 休み時間は自由参加の練習ですが、日に日に練習する人が増えてい きました。「4年生になったら、応援団に入りたい」と、高学年の 姿にあこがれを抱いている低学年がたくさんいます。

感染予防に気をつけながら主体的にかかわって、運動会を盛り 上げようとはりきっています。

DA

立ち止まらない

# 

## ○ 令和3年6月5日(土)午前8時50分~正午頃。

南天の場合6月6日(日)に延期

開会式・閉会式 徒競走・かけっこ 全学年 団体種目 \*ソーシャルディスタンス

を考えた種目になっています 1・2年生 ダンシング玉入れ

トゥワード ユア ドリームズ 3年生 〈ゆめにむかって〉 4年生 ぼうぼうボール

5・6年生 網引廻戦 1・2・3年生代表 4.5.6年生代表

応援・全校ダンスなど

天候や感染の状況によっては、 変更となる場合もあります

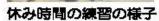


0









応援団は、下級生のあこかれ となっています。









感染的止よびかけキャラクター

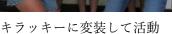
当日は、「感染防止よびかけキャラクター」がかかれたプラカードやうちわで運動会が安 全に実施できるようによびかけます。「保護者のみなさま、密にならないでね。密になっ てしまったら、ぜったいにしゃべらないでください。お願いしまーす!!」

### 4 145周年記念児童集会等の実践

## (1) 145周年キャラクター誕生

『みんなの学校 みんなで楽しく大作戦』の児童の発案により、これまで本校であいさつキャ ラクターとして存在した「キラッキー」のお友達というコンセプトで、145周年のキャラクタ ーを全校児童から募集した。多数応募されたものの中から運営委員会で最終選考の12点を選 び、その後、全校児童による投票で決定した。運営委員会の児童がキラッキーに変装して活動し たり、ポスターをかいて各学級を回ったりして盛り上げた。発案から決定まで見通しをもたせ、 児童が主体的にできるようにしたことで、各自が責任をもち、楽しみながら活動できた。











投票用紙の集計の様子

### (2) 145周年おめでとう集会 〈オンラインによる〉

令和3年9月17日(金)8時30分から9時に、オンラインによる「145周年おめでとう集 会」を実施した。学校に関するクイズや各学級の映像、キャラクターの紹介、PTAからの記念 品や145周年記念リーフレットの紹介、児童代表のあいさつなど、オンラインではあったが 145周年をお祝いする楽しい児童集会となった。



学校クイズ



司会進行の様子



各学級の様子



つきまるく

ラク ター 、ん」の紹介

## (3) 145周年記念「宇宙プロジェクト2021~子どもたちと宇宙をつなぐ~」の取組

『みんなの学校 みんなで楽しく大作戦』に「みんなの夢をかいて写真にしたい」という児童の発案があった。このことについては、外部企業と連携し「宇宙プロジェクト2021~子どもたちと宇宙をつなぐ~」に参加することとした。一人一人の夢と笑顔の集合写真で作ったモザイクアートをロケットに搭載して宇宙ステーションに打ち上げるという企画である。ロケット(ドラゴン24号機)は令和3年12月21日に発射した。写真は国際宇宙ステーションに乗って、約半年間の宇宙旅行をして地球に帰還する予定である。打ち上げられたモザイクアートは、クラスIDを入力すると見ることができるので、児童は、一人1台タブレットを活用して見ている。外部企業と連携することで、学校行事が宇宙規模となり夢が膨らんだ。この写真は145周年記念リーフレットにも活用した。また、今年度の展覧会のテーマにもつながった。



夢と笑顔のクラス写真



145周年記念 リーフレット

### 5 145周年記念展覧会の実践

令和4年2月4日(金)・5日(土)に、「2022 宇宙のたび〜色と形で広げよう〜」をテーマに実施した。上記「宇宙プロジェクト」や「キャラクターの取組」につながる活動であったので共同制作等、大変意欲的に取り組めた。また、集会委員会による「展覧会直前!ドキドキ集会」(今年度のテーマや各学年の作品紹介等)を行ったことで展覧会当日の鑑賞への期待も高まった。



夢を乗せたロケットの作品



145周年記念階段アート作りの様子

#### 6 まとめ

児童のアイディアを様々な教育活動に生かして実践できるようにしたことで、よりよい学校生活や学校行事を自ら築いていこうとする力が身に付いてきた。145周年という節目に、一年間を通してお祝いしたことも大変効果的であった。『みんなの学校 みんなで楽しく大作戦』の取組が、150周年行事にもつながっていくように継続して指導していきたい。